

第4回 片瀬山市民の家再整備調整会議 議事要旨

日時：2023年（令和5年）3月15日（水）15時30分～17時00分

場所：片瀬市民センター 第1談話室

出席者：【検討委員】渋谷会長、松本副会長、甲斐氏、和田氏、若月氏、畠山氏、林氏、
北川氏、正田氏、荻野氏、坂間氏

【事務局】（市民自治推進課）日原参事、森主幹、野田補佐

（片瀬市民センター）森井主幹

欠席者：【検討委員】井口氏 【事務局】横田センター長

資料：【資料1】第3回片瀬山市民の家再整備調整会議 議事要旨

【資料2】提言書の要望事項に対する市の考え

【資料3】配置イメージ（参考）

【資料4】諸室構成比較（配置イメージの例）

【資料5】片瀬山市民の家利用状況

議 事

（1）前回の議事の確認

事務局から資料1について説明。前回会議の要旨について資料記載のとおり確認された。

【質問・意見】

- ・「指定避難所などオフィシャルな位置づけをしようとするハードルが高い」とあるがハードルとは。収容人員や設備などの基準があるのか。
⇒ 指定避難所は法律上の指定が必要で、構造や立地などの基準があるが、ここで意味しているのは、職員の配置が必要となる点。そのため、新施設は片瀬中学校の拡張機能として運用する予定。

（2）新施設の諸室・設備について（前回の続き）及び

（3）新施設の配置イメージ

事務局から資料2～5について説明された。

- ・資料3「配置イメージ」は、資料2の○や△の部屋等を具体的なイメージがしやすいよう絵にしたもの。あくまで検討用のたたき台の資料。
- ・資料4「諸室構成比較（配置イメージの例）」について、合計の面積は1.5倍以上としている。また、トイレはスペースを有効活用するために男女共用として、さらに多目的トイレを加えた。
- ・資料5「片瀬山市民の家の利用状況」について、ホールの利用率が高く、和室の利用が少ない状況。また、和室は2部屋合わせて利用しているケースが多いこと

からも大きな部屋が求められており、小さい部屋は利用が少ない。

- ・資料2の赤字箇所（前回会議を踏まえて今回追記した部分）について、それぞれ説明。

【質疑・意見】

- ・AEDは是非つけてほしい。利用者の中心は70代、80代。設置する以上、運営委員全員が使えるようにする。以前にも市民自治推進課に設置を要望しており、新しい施設には付けるとの回答だった。
- ・ボランティアセンターにもついており、自主的に研修を受けている。
乳幼児対応のものをセコムからリースしている。（（市）リース料は運営費で支払っており、市の補助金の対象となっている）
絶対に市民の家にも必要。地域住民の安心にもつながる。
⇒ 前向きに検討する。
- ・配置イメージの防災倉庫あたりに桜といちょうの木があるが、幼稚園の名残りとして残してほしい。
⇒ 市にもその要望の記録があり、新施設を作るときにも残す。
配置イメージは敷地全体の半分程度。市としては利用状況を踏まえると現在の片瀬山市民の家以上の広さにするのは説明がつかない。これまでの市民の家には無い駐車スペースや屋外の憩いのスペースを加えても、この約210坪のスペースで収まる。残ったスペースについてどうするかは今後の検討となる。
- ・資料によると、片瀬中学校の拡張機能で短期滞在を想定しているが、それでは大災害の時には対応できない。片瀬中学校の補完的な位置づけではなく、きちんとした避難施設を作るべき。
⇒ 片瀬山市民の家については、これまで水害時、すなわち短期の災害時に避難施設として使う想定になっているが、新施設については、地震の時の長期滞在時にも使えるように防災安全部と調整している。
- ・自家発電は非常用電源として必ず必要。
⇒ 防災については、場合によっては防災安全部を呼んで防災計画上の位置づけなど議論していくことが必要。別の機会を設けたい。
- ・花壇を作ってはどうか。自然に人が集まる。オープンスペースから花壇が見えるようにすると寛げるのではないか。
- ・これから新しく作る施設は市民の家が主体かもしれないが避難施設も兼ねられるものにして、ここがあって良かったと思えるようなものを作っておいたほうが良い。
- ・建物を2階建てにするかはっきりするのはいつごろか、マッチング相手によって

決まるのか。

⇒ サウンディング調査の結果、事業者が2階部分を使って何か事業をするとなった場合には2階建ての可能性はある。2階建てにした場合でも市民の家のスペースが広がる訳ではなく配置イメージ程度の大きさで考えている。サウンディング調査の結果、民間活用を図る場合でも市が条件を付けて民間に使っていただくことになる。

- ・片瀬山の建築協定で民間事業者があな場所商売することはできない。店舗兼住居である必要がある。よく確認してほしい。

⇒ 確認して皆さんで共有できるように次回、資料をご用意する。

- ・配置イメージどおり1回建ててみて、ホール兼会議室などを避難所として実際に使ってみればよいのではないか。それで不足があれば2階を付け足すように市に依頼すればよい。
- ・配置イメージのキッチンの位置について、できるだけ窓側に付けるべき。
- ・キッチンについて、石原谷市民の家のような簡易キッチンでは料理サークルには対応できない。1台にしてもしっかりしたキッチンにしてほしい。それによって稼働率が上がるのではないか。
- ・避難施設として考えた場合にもキッチン1台では足りない。無駄であっても万が一の際を考慮して2台設置してほしい。

(4) サウンディング調査の状況

- ・2月6日に実施要領ホームページで公開し、3月10日まで参加業者を募集した。その結果、3者から参加申し込みがあり、3月17日から意見交換を行っていく予定。4月中旬に意見を公表する予定なので、次の会議でご報告させていただく。

(渋谷会長から報告)

- ・先日体調を崩して入院した。万が一、職務を継続できなくなった場合は、松本副会長が会長となるが、その場合に、副会長の代行が必要となる。畠山さんと和田さんが前検討会議のメンバーだったので適任と思うがいかがか。
- ⇒ 畠山氏は他の役員を多数受けているため辞退。和田氏と荻野氏で担当することに決定。

(その他)

- ・今のペースで大丈夫か。
- 当初の予定では会議は第7回までなので残りは3回。
- 今回、配置イメージの資料をご覧いただいたが、業者に発注するときは2つの方

法があり、図面を作ってそのとおり作ってもらう方法と性能発注とって部屋の数や仕様など条件だけを提示して業者に自由に発想してもらいコンペで選ぶ方法がある。業者に提案してもらったほうが面白いものが出来上がるので、そのほうが良いと思っている。資料の「配置イメージ」は、あくまでもイメージ図であって、どのような部屋がどの程度の広さで必要かを検討していただくためのもの。

(5) 本日の会議の振り返り
時間の都合により割愛

(6) 次回について

次のとおり事務局から報告された。

日時：5月17日（水）午後3時30分から

場所：片瀬市民センター

議題：諸室・設備の検討及び再整備方針（素案）の確認

以 上